

校長室より

第49号

「天空高き」



平成25年7月19日

今年の夏は・・・その1

明日から待ちに待った夏休みです。

この年齢になっても「夏休み」という言葉を聞くとワクワクしてきます。

今年の夏は、うだるような暑さになりそうです。「涼しい北海道でゆっくり骨休めをしたいなあ」と思ってしまふのは、私だけでしょうか。

このような考えを「無い物ねだり」と言います。英語では「cry for the moon」と表現します。

でも、月に向かって叫んでも、無駄とはわかっていても、叫ばずにはおれぬほどの暑さですね。



世界自然遺産 知床半島「羅臼岳」

今年の夏は・・・その2

猛暑の影響か、それとも私の愛情不足のせいで、どうもグリーンカーテンの成長が遅いようです。

ゴーヤは収穫ゼロ。アサガオに至ってはまだ花も咲きません。

もう一度原点に戻り、学校に来たときには、いの一番に声掛けをしていきたいと思えます。

1学期が終わろうとしています。今年も生徒のみなさんからは、朝一番に、元気な挨拶をもらいました。ありがとうございます。

「おはよう」「おやすみ」の言葉掛け、食事の時の「いただきます」「ごちそうさま」は、挨拶の基本です。いつでも、どこでも、誰とでも、大切にしてもらいたい言葉の



一つです。

今年の夏は・・・その3

高校生のみなさんは、本稿の校章の由来を知っていますか。

私達のころは、帽子の徽章に、学生服のボタンに、左下の校章が入っていました。

中央の「高」は「高水」の「高」と「高等学校」の「高」を意味します。The Pen is mightier than the Sword. (諺：ペンは剣よりも強し 《文の力は武よりも強い》) のペンを「高水」の「水」に組み合わせました。「山高くして水清く、文化の中心高水高校」と読みます。

ついでに、5月にカナダとの高校生交流会の時に校章について英文で説明した文章を紹介しておきます。

Takamizu school badge



The name of Takamizu High School consists of two Kanji Chinese characters. One is Water, the other is High.

Takamizu means “water in high places”. It holds the image of pure water welling from a mountain.

The symbol character in the center means “High”. It represents water and the water parts are made of two pens as the pen can be mightier than the sword.



「鷹に中」 高水の「高」と雄渾を意味する「鷹」とを掛け合わせ、翼を広げている鷹のデザインは高水の「水」を表しています。



つねに、よい目的を見失わないで努力をつづける限り、最後には必ず報われる
ゲーテ (ドイツ：詩人・小説家・劇作家)

ウサギとカメ



イソップ童話「ウサギとカメ」の話はみなさんよく知っていると思います。教訓として「才能はあっても、油断すると負けてしまうことがある。また、才能はなくても、真面目で辛抱強い人は、才能がある人に勝つ事もある」ということだと思えます。

最近、ウサギとカメの話で面白い見方があることを知りました。

カメがウサギに勝ったのは、カメがゴールすることを目標にしていたのに対して、ウサギはカメを目標にして競争したから、負けたのではないかということです。つまり、目の前のことにとらわれ、大きな目標を見失い失敗したということでしょう。

そういえば、私もこのような場面に遭遇したことがあります。後で大変な思いをしたことをよく覚えています。

長い夏休みです。一人ひとりが目標を立て、目の前のうだるような暑さやいろいろな誘惑に負けず、計画に従って、それぞれのゴールを目指してもらいたと思います。

特に、高校3年生のみなさんにとっては最後の夏休みです。進学や就職にとって勝負の夏休みです。一日一日を全力投球して夏を制してください。

ちょっと深くはなりますが～トウモロコシのひゲは何？～

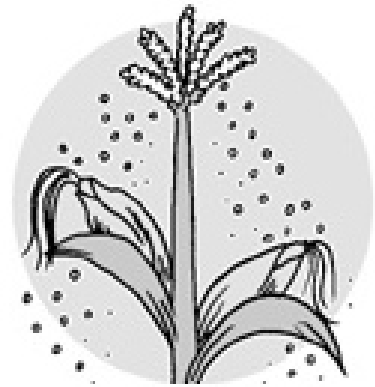
いよいよ明日から夏休みですね。今年の夏は猛暑で、冷たいアイスクリームやかき氷が欲しくなりますが、夏が旬な食べ物にトウモロコシがあります。

ビタミン、たんぱく質、食物繊維などの栄養素をバランスよく含んでいます。緑色の皮をむくとき、トウモロコシの先端から、黄緑色や茶色の「ヒゲ」のようなものがたくさん出ていますが、あれは何だと思えますか？

ヒゲの正体は、トウモロコシの「めしべ」（正確にはめしべの柱頭に当たる）です。

長く伸びるめしべは「絹糸（けんし）」と呼ばれています。皮をむくとき、トウモロコシをよく見てください。ヒゲはみんなが食べる一粒一粒につながっています。

ヒゲは粒の一つ一つから伸びていて、花粉がつくと受精をして果実（実）になります。トウモロコシの粒と、ヒゲの数は同じになります。粒の数は品種によって違いますが、おおよそ600粒くらいです。



トウモロコシの雄花は、茎の先端にススキの穂のような感じで咲いて花粉を落とします。めしべの絹糸に花粉が落ちてきて受粉すると、花粉管が絹糸の中で伸びて、粒のところで受精します。受精すると、粒の中に実が詰まっていきます。

絹糸がトウモロコシの先端から出てくるよりも早く雄花が開花して花粉が落ち始めます。トウモロコシの花粉の量は1株で約2000万粒もあって、トウモロコシ畑では花粉が飛んでいるのが白く見えることがあるそうです。

絹糸は、トウモロコシの下の方から先に伸びていきます。だから下の方から受精が始まり、実が詰まっていきます。上の方は受精できずに実が入らないこともあります。そのときには、歯抜けのトウモロコシになります。

また、「ヒゲ」の部分には、利尿作用や抗炎症作用などの効果があると言われていています。このため、とうもろこしのヒゲはお茶だけでなく、タブレット（錠剤）などにされることもあるそうです。

原産は中南米といわれています。1492年、コロンブスがアメリカ大陸を発見した際、現地のカリブ人が栽培していたトウモロコシを持って帰ったことでヨーロッパに伝わりました。日本には1579年にポルトガル人から長崎または四国に伝来。本格的に栽培されるようになったのは、明治初期にアメリカから北海道にスイートコーン、デントコーンが導入されてからです。

世界三大穀物の一つである**トウモロコシ**（玉蜀黍、学名 *Zea mays*）は、イネ科の一年生植物です。穀物として人間の食料や家畜の飼料となるほか、デンプン（コーンスターチ）や油、バイオエタノールの原料としても重要で、年間世界生産量は2009年に8億1700万トンに達しています。

金魚すくい 武田 真樹

浮かんでくるまで
無理にすくわない

無理に追わない

小さくても
ぱっとしないのでも
すくい上げた時から
特別なんだ

言葉と
いっしょだね

